

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2008-243864(P2008-243864A)

【公開日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2007-78009(P2007-78009)

【国際特許分類】

H 01 L 33/48 (2010.01)

F 21 V 8/00 (2006.01)

G 02 F 1/13357 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 N

F 21 V 8/00 6 0 1 D

G 02 F 1/13357

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月17日(2010.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

長方形状であって、長手方向に延伸して形成される凹部を有する実装基板と、前記凹部の底面の長手方向に実装された複数の発光素子と、前記実装基板の長手方向の略中央部に長手方向へ進行する光に対して反射機能を有する壁部と、前記複数の発光素子と前記壁部とを一体的に覆い、前記実装基板の短手方向に光を集光するレンズ機能を有する封止樹脂と、を有することを特徴とする発光装置。

【請求項2】

前記壁部の上面に保護素子を有する請求項1に記載の発光装置。

【請求項3】

前記凹部が、前記実装基板の長手方向の側面で開口している請求項1又は2に記載の発光装置。

【請求項4】

前記凹部にのみ蛍光体層を有する請求項1乃至3のいずれか1項に記載の発光装置。

【請求項5】

前記短手方向に光を集光するレンズ機能を有する封止樹脂上側の表面形状が半円柱状である請求項1乃至4のいずれか1項に記載の発光装置。

【請求項6】

長方形状であって、長手方向に延伸して形成される凹部を有する実装基板と、

前記凹部の底面の長手方向に実装された複数の発光素子と、

前記実装基板の長手方向の略中央部に長手方向へ進行する光に対して反射機能を有する壁部と、

前記複数の発光素子と前記壁部とを一体的に覆い、上側の表面形状が半円柱状である封

止樹脂と、を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 7】

長方形状であって、長手方向に延伸して形成され、長手方向の側面で開口している一対の凹部を有する実装基板と、

前記凹部の底面の長手方向に実装された複数の発光素子と、

前記凹部間であって前記実装基板の長手方向の略中央部に配置された、反射機能を有する壁部と、

前記複数の発光素子と前記壁部とを一体的に覆い、前記実装基板の短手方向に光を集光するレンズ機能を有する封止樹脂と、を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 8】

出射面に対して略直交する端面に入光部を有する導光板と、

該導光板に光学的に接続された請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の発光装置と、
を備えることを特徴とする面状発光装置。